

ビジネスアイディアの概要

ペプチド医薬品をはじめとする中分子医薬品は、新規モダリティとして注目を集めているが、**精製プロセスの効率向上**に課題がある。本プロジェクトでは、この課題を解決するために、多孔性金属錯体（MOF）を用いた中分子・高分子分離技術の開発を行う。

MOFが有するナノサイズの細孔によりペプチドを含む様々な中・高分子化合物が認識される現象を用いることで、これまで精製が困難であった医薬品原料・原薬の精製の実現を目指す。

ビジネスアイディアを事業化するための課題

MOFを用いた医薬品精製技術による医薬品の受託精製、消耗品販売、技術ライセンス等を収益モデルとして想定する。大手製薬企業、CDMO、カラムメーカー等を主な顧客とし、MOFの製造については化学メーカー等との連携を想定している。

現時点の課題としては、大手製薬企業等との協業を実現するに至る実験データの取得および見込み顧客の開拓である。

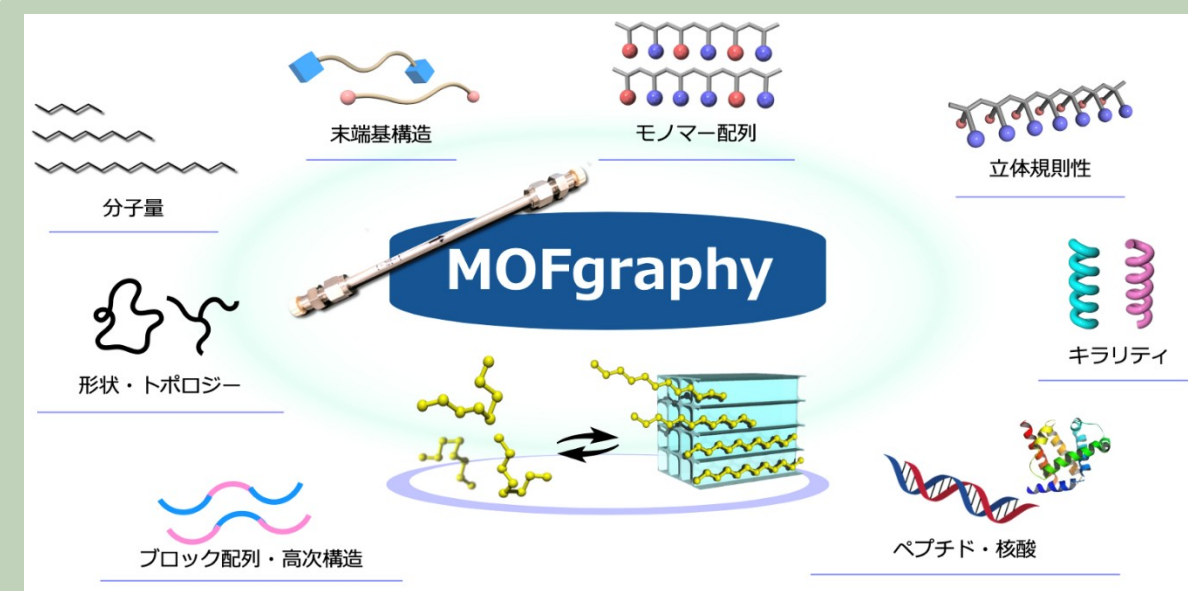
事業化の見通し

大手製薬企業、CDMO、カラムメーカー等に対するニーズ探索を通じた事業化に関する仮説の検証と、実用に適した分離性能の達成に向けた研究仮説の検証を行う。前者については、展示会等を通じた接点の構築を図る。後者については、実際の原薬を想定した化合物の分離検証を行うと共に、MOFおよび分離工程の最適化を図り、分離性能を現在の10倍以上に引き上げるための研究開発を行う。

事業者情報

運 愛斗（Manato Un）

ビジネスアイディア概要図等



MOFを用いた分離技術により、
医薬品の精製過程の効率化をはかる